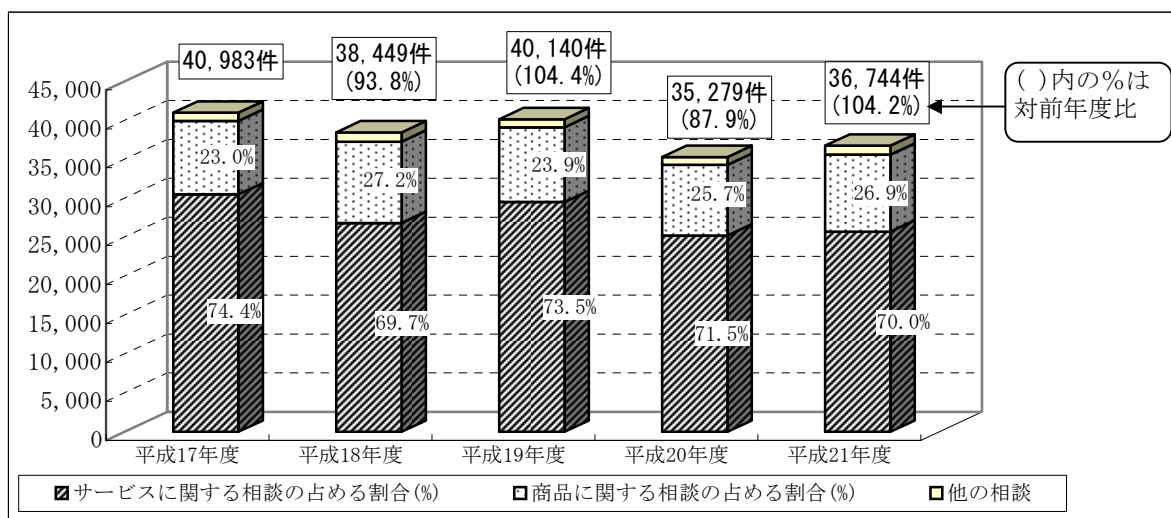


資料編

1 相談全体の概要

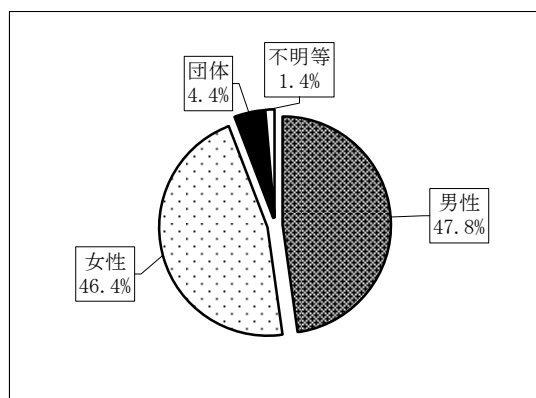
- ① 相談件数は36,744件、対前年度比4.2%の増加となった。
 そのうち、相談内容を商品(物)とサービス(役務)に分けると、サービスに関する相談の占める割合が、前年度に引き続き7割を超える(図-1)。

【図-1】相談件数の推移

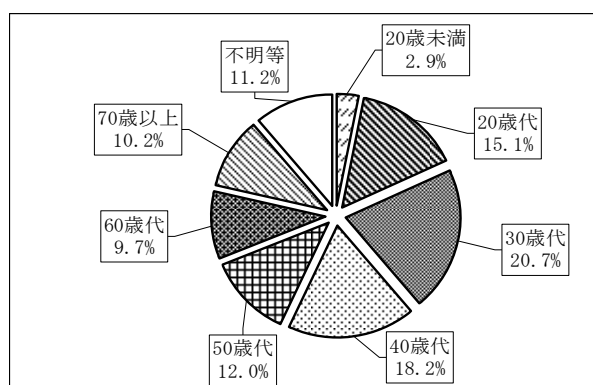


- ② 契約当事者の属性でみると、男女の相談件数の割合について、ほぼ差は見られない。年代別では「30歳代」が20.7%と最も多く、次に「40歳代」、「20歳代」の順となっている。前年度と比較すると、60歳以上の年代において、件数・割合ともに増加が目立っている(図-2・3/表-1・2)。

【図-2】契約当事者性別(平成21年度)



【図-3】契約当事者年代別(平成21年度)



【表-1】契約当事者性別 前年度比較

	平成20年度 (構成比)	平成21年度 (構成比)	対前年度比
男性	17,040 (48.3%)	17,551 (47.8%)	103.0%
女性	16,389 (46.5%)	17,060 (46.4%)	104.1%
団体	1,295 (3.7%)	1,607 (4.4%)	124.1%
不明等	555 (1.6%)	526 (1.4%)	94.8%
計	35,279 (100.0%)	36,744 (100.0%)	104.2%

【表-2】契約当事者年代別 前年度比較

	平成20年度 (構成比)	平成21年度 (構成比)	対前年度比
20歳未満	1,095 (3.1%)	1,078 (2.9%)	98.4%
20歳代	5,620 (15.9%)	5,562 (15.1%)	99.0%
30歳代	7,616 (21.6%)	7,601 (20.7%)	99.8%
40歳代	6,254 (17.7%)	6,678 (18.2%)	106.8%
50歳代	4,387 (12.4%)	4,391 (12.0%)	100.1%
60歳代	3,215 (9.1%)	3,571 (9.7%)	111.1%
70歳以上	3,123 (8.9%)	3,745 (10.2%)	119.9%
不明等	3,969 (11.3%)	4,118 (11.2%)	103.8%
計	35,279 (100.0%)	36,744 (100.0%)	104.2%